



ランチ研修会のお知らせ

「日本の職場におけるパワハラ問題」

参加者募集！

大学教職員ならばどなたでも歓迎！対面参加者には無料お弁当を用意します☆

交流しながら、学問的な知見を学べるランチ研修会を企画しました。

テーマは「日本の職場におけるパワハラ問題ー私たちはハラスメントにどう気をつけるべきか」です。“ざくばらん”な研修と交流ができればと考えております。性差別禁止やパワハラについて労働法の観点から研究を行い、厚生労働省「職場のいじめ・嫌がらせ問題に関する円卓会議ワーキング・グループ」委員など政策現場での委員も歴任してきた独立行政法人労働政策研究・研修機構の内藤忍先生をお呼びし、パワハラに関する基礎知識やパワハラが生じる構造的な問題、法規制、パワハラにあった場合の対処方法など、学問的な知見をもとにわかりやすくお話しいたします。内藤先生はイギリスの労働法やジェンダー研究にも詳しく、日本の職場について国際比較の視点を持って研究しています。

当日は、内藤先生に40分程度オンラインでご講演いただき、その間に、講演を聞きながら、対面参加の組合員の皆さんにはお弁当を食べていただきます。食べ終わってマスクをしてから、15分程度、内藤先生への質疑応答の時間をとりたいと思います。組合員の皆さん、組合加入を検討中の非組合員の方も含めて、お気軽にご参加ください。

記

- ・日時：7月11日（月）PM12時15分～13時15分（受付12時開始）
- ・場所：経済学部A棟 第一会議室（経済学部棟の2階）
- ・プログラム：
 - 12時15分～12時18分 挨拶
 - 12時18分～13時 内藤忍先生 講演
 - 13時～13時15分 質疑応答

【申し込みフォーム】

7/4 日(月)までに、右記の URL、もしくはQR コードの google フォームからお申し込みください。

URL: <https://forms.gle/wXmcxXd7GmeNMXsn6>



対面参加の場合は、組合が美味しいお弁当(無料)を用意します。オンライン(ZOOM)でも参加できます(zoom参加者にはお弁当はありません。)後日zoom招待メールを送信致します。

【講師プロフィール】内藤忍(ないとう しん)氏

独立行政法人 労働政策研究・研修機構(JILPT) 副主任研究員。専門は労働法。2006年、早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得後、機構へ。2010年、英ケンブリッジ大学法学部客員研究員。日本学術会議連携会員。現在、明治大学大学院経営学研究科で「ADR論」(労働紛争処理論)、お茶の水女子大学生活科学部で「労働法」を担当。厚生労働省「職場のいじめ・嫌がらせ問題に関する円卓会議ワーキング・グループ」委員、同「職場のパワーハラスメントに関する実態調査検討委員会」委員、同「ハラスメント対策企画委員会」座長などを歴任。

UNION PRESS

埼玉大学教職員組合 No.2 (2022年6月号)

大学入学共通テスト業務および大学のコロナ対策に関するアンケート調査結果

アンケート調査には18件の回答が寄せられました。その結果を報告いたします。いただいた意見に基づき、勤務環境の改善および対策を考えていきたいと思っております。ご協力、ありがとうございました。

<対面授業のコロナ対策についてのご意見>

①現在、対面授業を行っていますか

はい 83.3% いいえ 5.6% 無回答 11.1%

②対面授業において、コロナ対策は万全なものだと思いますか

はい 38.9% いいえ 44.4% その他 5.6% 無回答 11.1%

③現状の対策に対して「万全ではない」と判断した理由

- ・ 現状では教室は過密状態にある。

④現状の対策への意見

- ・ 受講者受け入れを見直す。定員を見直す。
- ・ コロナ感染の学生の対応の統一が必要。

⑤コロナ感染症対策への要望

- ・ 既存対策の徹底（消毒、換気など）空気清浄機の設置・教室の広さの確保。
- ・ オンライン授業の実施（感染状況に応じて/受講者数に応じて）。
- ・ コロナ関連の体調不良による欠席者の取り扱いの基準を設ける。

<共通テストのコロナ対策についてのご意見>

①共通テスト業務に従事しましたか

はい 83.3% いいえ 11.1% 無回答 5.6%

②共通テストにおいて、コロナ対策は万全なものだと思いますか

はい 33.3% いいえ 44.4% 無回答 22.2%

③現状の対策に対して「万全ではない」と判断した理由

- ・ 教室も待機室、入試本部も過密状態である。必要とする備品を置いていない（非接触型の体温計など）

④現状の対策への意見

- ・ 監督者には危険手当があるが、連絡事務職には、危険手当がない。
- ・ 担当職員の増員、一人当たりの業務時間削減。手当のアップ。陽性となった場合、PCRの検査はしたほうがいいのか。

⑤コロナ感染症対策への要望

- ・ 既存の対策の徹底。
- ・ 密の回避（監督者の待機室を増やす。教室の受験者数の見直し。教職員と生徒のトイレを分けるなど）。コロナとなった場合の労災の認定。

(声)学生が教員に対し、コロナに感染した、ワクチン接種により体調不良で授業に出席できないなどの連絡を個別にしてくる体制を改善して欲しい。また、コロナ関連の体調不良による欠席者に対する取り扱いを、大学で基準を設けて示してほしい。欠席者に対してオンライン配信を行う/行わないという判断を教員個人の裁量に任せるのはあまりに負担が大きい。

埼玉大学教職員組合 〒338-0825 さいたま市桜区下大久保 255 第2生協1階

E-mail: saikyoso@gr.saitama-u.ac.jp URL: <http://kumiai.client.jp/>

電話 : 048-853-5609 (内線) 3160 生協第2食堂・理髪店の奥